

富士市中高生意識調査結果を概観しての感想

富士市議会議員 小池智明

2,750名という非常に多くの中高生の方々のアンケート結果をいただきましたが、集計処理がなされない生データを短い時間の中で概観した（ザッと見るしかなかった）中での個人的な感想として、以下書かせていただきます。

1 富士市の魅力について

- ・富士山、自然、お茶、紙、人柄の良さ等、私が感じていることと同様の回答が多かったと感じます。

2 富士市に住んでいての不満、その理由等について

(1) 中高生だからこそ、強く感じていると受け取った不満・課題

- ・友達と遊びに出かける場所がない…大型商業施設がない、映画館がない
→「友達」、「遊ぶ」がキーワードでしょうか？
- ・交通環境が悪い…道路が狭く、歩行者・自転車が危険、市内外に出かけるのにバスの本数が少ない
→車を持たない中高生は交通弱者ですね。
- ・製紙工場の匂い
→私は、昔と比べほとんど解消されたという認識だったので、世代、感覚の違いを感じました。

(2) (1)に加え、大人の皆さんも感じていると思う不満・課題

- ・富士駅・新富士駅の接続がない
- ・県内第3位の人口規模なのに、賑わいで富士宮や沼津に負けている
- ・良いところや魅力がPRできていない、もっと早く、上手に宣伝すべき

(3) 数は少ないが、気になった意見等

- ・大学がない…市内に大学があればよい
- ・移住者を優遇するより、こども医療費を更に無償化する等、子育てを応援すべき

3 私の総括的な感想

- ・2の「不満、その理由」から、「友達」、「遊び」、「交通弱者」等、中高生の皆さんならではの富士市に対する厳しい評価だと受け止めました。
- ・また、「今回のあなたの意見を、富士市議会議員が議会に届け、行動してくれると思いますか？」の問いに対し、「いいえ」の方が27.1%、つまり「市議会議員に対し期待していない、良いイメージを持っていない」と思う方が1/4以上いるということにショ

ックを受けるとともに、率直に受け止めなければと思います。

- ・若い中高生の皆さんの意見を受け止め、鉄道駅と複数の中心街が離れているという都市構造上の課題はありますが、それらを踏まえた「にぎわい拠点づくり」と「交通網の充実」等を進めていく必要性を、改めて感じました。

4 **せっかくのアンケート結果の整理・分析の必要性について**

- ・まちづくりに関するこれだけの規模（2,750人）の中高生アンケートは、おそらく今回が初めての取組みで、「貴重な生の声、データ」だと思います。
- ・JC（青年会議所）の皆様には、アンケート結果を客観的に整理し、その上で中高生の感じ方・考えを分析した報告を改めて公表いただければと思います。